

石川県立七尾特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。また、令和6年能登半島地震において、全国各地の皆様より多大なるご支援、ご声援をいただきました。この場をお借りし、厚く御礼を申し上げます。

本校は、昭和54年に石川県立七尾養護学校として開校し、同時に能登病院分教室と七尾病院分教室にて訪問教育を開始し、今年度で48年目を迎えました。また、さらに、平成17年に珠洲分校を、平成20年には輪島分校を開校しました。

桜の花が咲き誇り、やわらかな春の光に包まれて令和8年度が幕を開けました。小学部8名、中学部7名、高等部19名、合わせて34名の新入生を迎え、131名の児童生徒が新たな一歩を踏み出しました。

今年度の重点目標は（1）教科指導の充実と自立活動の指導の充実（2）地域社会との連携（3）安心・安全な学校づくりとし、児童生徒が地域で生き生きと安心して生活する姿をめざし取り組みたいと考えております。

本校は能登半島地震を経験し、学校全体で防災教育に取り組んできました。今年度はさらに「自分の身を守るためにできること」「近隣住民とできること」を具体的に考え、「自助・共助」の意識を育み、地域の方々と日頃から顔の見える関係を大切にし、児童生徒が自らの状況を伝え、周囲と手を取り合うことができるよう取り組みたいと考えております。

保護者の皆様、地域の皆様、そして関係機関の皆様との連携を密にし、131名の児童生徒一人ひとりの笑顔が輝く学校づくりに邁進してまいります。
変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年4月



石川県立七尾特別支援学校

校長 土佐 智美